

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	重症心身障害児者の地域生活モデル事業		担当部局庁	社会・援護局 障害保健福祉部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	障害福祉課 地域移行・障害児支援室		辺見 聡	
会計区分	一般会計		施策名	Ⅷ-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計 画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	重症心身障害児者及びその家族が地域で安心・安全に生活できるようにするため、地域の重症心身障害児者支援の中核となる医療型障害児入所施設等に医療、福祉、教育等の各分野をコーディネートする者を配置し、関係する分野と協働による支援体制を構築すること等により、総合的な地域支援体制を整備し、地域生活支援の向上を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> 重症心身障害児者地域生活モデル事業協議会の設置 重症心身障害児者やその家族に対する支援 地域における支援機能の向上 地域住民に対する啓発 補助率:定額(10/10)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算				24	48
		繰越し等					
		計				24	48
	執行額						
	執行率(%)						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	本事業の目的は、重症心身障害児者やその家族への総合的な地域支援体制のモデルを策定するためのものであり、成果実績を定量的に評価するものではない。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	実施か所数		活動実績 (当初見込み)	人	-	-	-
単位当たり コスト	-		算出根拠	-			
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	重症心身障害児者の地域生活モデル事業	24	48	実施箇所数の増			
	計	24	48				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	平成24年度より児童福祉法の一部改正が施行され、障害児支援施策の推進を図っているところであり、本事業は、重症心身障害児者やその家族が地域で安心・安全に生活できるようにするための地域支援の普及を図るものであるため、優先度が高いものである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	本事業については、重症心身障害児者やその家族が地域で安心・安全に生活できるようにするための地域支援の事業をモデル的に実施し、評価等を行い全国的に普及を図るものであるため、国が実施すべき事業である。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業については、重症心身障害児者やその家族が安心・安全に生活できるようにするため、地域の重症心身障害児者支援の中核となる医療型障害児入所施設等に、医療、福祉、教育等の各分野をコーディネートする者を配置し、関係する分野と協働による支援体制を構築する事業を実施し、その成果を踏まえて事業の全国展開等を行い、重症心身障害児者やその家族の総合的な地域支援体制を整備する必要があるため、引き続き、計上が必要である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
<p>本事業は、重症心身障害児及びその家族が安心・安全に地域でいきいき暮らせるよう、障害の状況や個々のニーズ等を踏まえた総合的なモデル事業を実施するものであり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。</p>			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	24-054

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A			E		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.00	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		0